



カジノより福祉に！

府民要求連絡会 府議会開会日行動

府民要求連絡会は2月24日、ランチタイム集会を200名の参加で開催しました。リレートークでは、カジノ問題を考える大阪ネットワーク「カジノあかん！世論と運動を広げよう」、大商連「商売人も庶民も願う景気回復を」、大教組「教育こわすチャレンジテストは中止しかない」、民主青年同盟「高校生・青年いじめ、冷たい維新政治やめて」、歯科保険医協「口腔崩壊など子ども医療の拡充を」、新婦人「カジノあかん！今こそ福祉・教育」と各分野6名から発言、府民連の有田事務局長から行動提起と閉会あいさつしました。

集会後は、府庁一周のパレードで「カジノをやめて福祉にまわせ」「博打で景気回復ありえへん」「大阪こわす副首都はんたい」など元気よくコールしながら道行く府民や高校生にアピールしました。また、府職労も参加する福祉医療の拡充を求める大阪実行委員会では、「府福祉医療費助成制度の拡充を求める請願署名」第一次分6万3929筆を府議会議長に提出しました。

働きやすい職場をめざして

府職員労組と病院労組

2017年度要求書を提出

2月8日に開催した府職労第3回中央委員会で決定した「府職労2017年度要求書」「病院労組2017年度要求書」をそれぞれ提出し、組合員・職員の切実な要求を実現するよう求めました。

府職労要求書では、「勤務時間の割振り変更の中止」「特別養子縁組等にかかる子の範囲の拡大等」「療育里親への子の看護休暇の適用」などの新たな要求も追加する。これまでも一貫して要求している求職者不足や夜勤回数削減等の問題を直ちに解決するよう強く求めました。



要求書を提出する府職労有田委員長



要求書を提出する病院労組山本委員長

要求実現！ 助産師手当大幅アップ 月3千円→1万円にアップ

府職労・病院労組が一貫して要求してきた助産師手当の大幅引上げが実現し、3月1日に病院機構当局より引上げ提案がありました。これまで交渉などを通じて、深刻な助産師の長時間過密労働の実態を伝え、助産師の確保のためにも、手

府職労・病院労組が、助産師確保や手当の増額、2016年度分の給与改定(引上げ)、非常勤職員の待遇改善等の要求の実現を求めました。こうした要求と運動を受けて、今回の引上げ提案となりました。みんなで声をあげ、運動することが要求の実現につながります。府職労・病院労組は引き続き、賃金・労働条件の改善をめざして、取り組みを強めます。

私たちが日々暮らすなかに憲法が根付いていませぬ。音楽、テレビ、漫画、雑誌、新聞、ゲーム、どれも当たり前に、日々私たちが享受しているものです。では、これが政府の考えひとつで制限されるようになったら

第21条 集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。

2 検閲は、これをしてはならない。通信の秘密は、これを侵してはならない。

かたは、自由な考えを表現することができ、考えたことを表現することができ、旧明憲法の下では、こうした権利は保障されませんでした。治安維持法によりあらゆる表現が弾圧され、政府に都合の悪い情報はほとんど検閲され、表現した人の命さえ奪っていきまされた。こうした反省に立ち、日本国憲法では自由に表現する権利を保障し、検閲及び通信の秘

私たちが取り巻く状況は、図書館戦争の世界に、いつなってしまうかわかりません。法律も同じ人が作るものですし、時には間違っているものもあるでしょう。しかし、それらの間違っているルールを疑いもせず、声をあげず、政治が誤った方向に進む責任は私たち一人一人にあります。表現する権利を存分に活かし、私たちが信じる道を進んで行きたいと思えます。

仕事と家庭の両立できる職場をつくろう

連載 母性保護を考える ⑤

女性ホルモンと月経

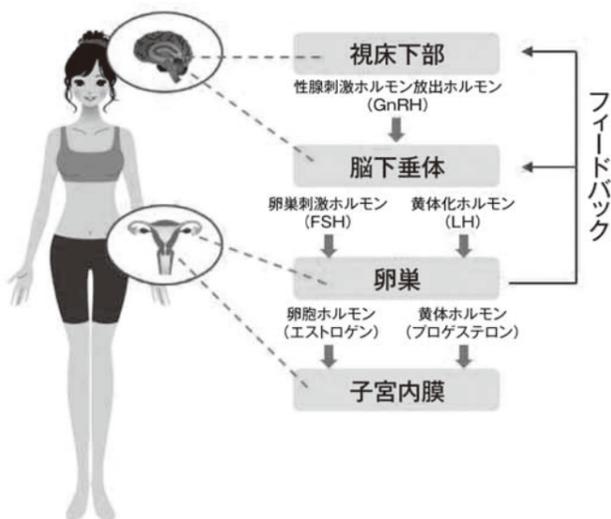
月経が起る仕組み

月経は女性ホルモンの分泌によって周期的変化を繰り返します。どのような仕組みで女性ホルモンが分泌され、月経が起るのでしょうか。まず、脳の中の視床下部から脳下垂体へ、脳下垂体から卵巣へ指令が出ます。卵巣からエストロゲン(卵胞ホルモン)を分泌し、子宮内膜を厚くし、排卵が起こります。今度は卵巣からプロゲステロン(黄体ホルモン)を分泌し、子宮内膜をベッドのようにふかふかにして、妊娠の準備をします。受精卵が子宮内

月経は健康のバロメーター

女性ホルモンの分泌をコントロールしている視床下部は、情緒や精神的な活動と密接に関係しています。同時に内臓の動きを調整する自律神経や内分泌腺に対する中枢的役割も果たしています。ですから、精神的緊張やストレスの強い環境にあると、女性ホルモンの分泌に影響を与え、月経不順や無月経になることもあります。月経は健康のバ

いつまでも健康で働ける職場を！ ~まずは生理休暇から~



3月～6月は母性保護月間です

ロメーターといわれるゆえんです。正常な月経は、通常25日～38日間隔で起ります。あなたの月経は順調ですか？

また、女性ホルモンは高コレステロールや高血圧、骨粗鬆などの病気からも守ってくれる大事なホルモンです。更年期になると女性ホルモンの減少からホルモンバランスも崩れて、さまざま障害が起きやすくなります。

3月～6月は母性保護月間です。生理休暇をしっかりとって、からだも心もゆっくりに休めましょう。今回は「月経前後の労働がからだに与える影響」を予定しています。(府職労女性部 母性保護講師団)